

# 分子標的薬のがん免疫療法への影響を解明するための 免疫細胞解析研究

## 研究概要

### 1. 研究対象

「OMICS解析による呼吸器疾患の病態メカニズムの解明」に参加し検体の二次利用に同意された方を対象としています。本研究ではすでに採取された患者さんの手術もしくは生検組織と血液検体の残余を使用します。

### 2. 研究の目的・方法:

すでに実施中の「OMICS解析による呼吸器疾患の病態メカニズムの解明」においては、様々な患者さん個々の組織や血液を保管し将来の研究に役立てることを目的として研究が進行しています。

「免疫」とは、「自分とは違う異物(非自己)を攻撃し、排除しようとする体の防御システム」です。正常な細胞ががん細胞になるとき、通常、非自己と認識され、リンパ球により排除されますが、一部のがん細胞が巧みにこの免疫監視機構を回避し、やがて大きながんを形成します。最近、このリンパ球を活性化するがん免疫療法が急速に広がっていますが、全ての患者さんに有効なわけではなく様々な他の薬剤との組み合わせが試みられていますが、最適な組み合わせはわかっていません。そこで、患者さんの組織や血液などの検体を使用し、薬剤によるリンパ球の応答を解析すれば、新たながん免疫療法の開発へとつなげることができます。

そこで、本研究では「OMICS解析による呼吸器疾患の病態メカニズムの解明」にも参加した方の残余検体を用いた附随研究として、組織および末梢血中の免疫担当細胞の解析を行い、新しいがん免疫療法の開発を目標とします。

すでに岡山大学医療系部局臨床研究審査専門委員会で承認を受けており、「OMICS解析による呼吸器疾患の病態メカニズムの解明」にて収集している検体を利用しますので検体を新たに採取することはありません。40名の患者さんの残余検体について以下の解析を行う予定です。この研究はヤンセンファーマ株式会社から資金の提供を受け医師主導研究として実施されます。研究責任者は岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野 富樫庸介です。この研究は、2026年3月31日までの予定です。

- 1) 機能解析: 免疫細胞に分子標的薬というがん治療に用いる薬剤を加えたときの活性化といった機能を解析します
- 2) 免疫フェノタイプ解析: 血液や組織中にどのような免疫細胞が存在しているかを解析します

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

すでに「OMICS解析による呼吸器疾患の病態メカニズムの解明」にて収集している検体(手術や生検にて得た組織の残余検体や採血の残余血液など)を利用します。検体およびその情

報について、個人情報 は適切に取り扱います。「OMICS解析による呼吸器疾患の病態メカニズムの解明」にて割り当てられた登録番号を用いて管理しますので、研究の結果が公表される場合でもいかなる個人情報も院外に出ることはありません。病歴や治療歴、副作用の発生状況といった情報は使用する可能性があります。患者さんからのご希望があれば、その方の臨床データや検体は研究に利用しないように配慮いたします。また、本研究では検体の残りは発生しない予定ですが、万一発生した場合は、個人情報が分からないようにして厳重に保管されます。

#### 4. 外部への試料・情報の提供・公表

外部に資料や情報を提供することはありませんが、将来的に成果として学会や論文で発表したり、公共データベース (<https://biosciencedbc.jp/>や <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/geo/> など) で個人が特定できないような形で公開することがあります。

#### 5. 利益相反・知財について

臨床研究における利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益(謝金、研究費、株式等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。この研究は、ヤンセンファーマ株式会社から提供される研究費を資金源として実施されます。研究者の利益相反の管理は、各研究施設の規定に基づいて利益相反委員会により適切に実施されています。本研究で何か発明・知財が発生した場合には患者さん個人には帰属しません。詳細をお知りになりたい場合は、連絡先までお問い合わせください。

#### 6. 研究組織

岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野 教授 富樫庸介

岡山大学病院・呼吸器外科 教授 豊岡伸一

岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野 助教 長崎讓慈

資金提供元研究機関: ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

#### 7. この研究に関する情報公開について

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

<研究代表者・事務局>

岡山大学学術研究院医歯薬学域・腫瘍微小環境学分野

富樫庸介

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL : 086-235-7390 FAX : 086-235-7392